

一九六二年の新年号を迎える。

今月号で「幼稚園の子どもの生活」の記録が非常に多くの頁数をとってしまった。

わずかに七十二頁の誌面のうち、しかも新年号に一つの記録だけで二十三頁ものスペースをとったことについて弁じなければならぬと思う。

およそ、幼児の特性にもっとも適した教育とはどういうものであるかを考えることは、幼児教育のもっとも重要な課題であることにはおそらく異論はないだろう。そしてこれが幼児の特性にかなった教育だといふ見通しを得られたら、それに向って進むことをつとめなければならぬと思う。

ところが現代の幼児教育者の間にはかなり根強くもたれている考えがある。それは教育という、先生がみんなを集めて何かをやらなければ教育にならないという考えである。そういう考えが幼児の特性にふさわしい教育を実施することを妨げている。この記録にあらわれる保育では、このような教育観を前提にすることをやめている。

第二に現代の幼児教育者は計画のことをあまり一生涯にめぐりに考えすぎる向きがある

と思う。考えているとカリキュラムはいくらでもこまかくなって、あれもこれもと盛りたくさんに入れてしまう。そのために子どもの生活がきゅくつで動きのとれないものになるおそれがある。教師が計画を考えるだけではなくて、それが子どもと協力して実行されていかなければならない。教育現場とは教師と子どもとの共同制作であるはずである。この記録はそのような教育現場の姿を記録していると思う。

幼児教育の実際が常に最大の課題とするところは、どうしたら幼児にもっとも適した生活を用意し、幼児の能力を最大に発揮させることができるかということであろう。この記録から子どもが果してどれだけ能力を発揮しているかを検討していただきたいと思う。そして先生が子どもたちの中でどのように動いているかをみているだけだいたいと思う。先月号には先生の動きだけの記録が掲載してあるのでこれとあわせてみていただければ一そう参考になると思

う。 たった一つのなまの記録に多くのスペースをさいたことの弁である。

(丁)

## 幼児の教育 第六十一巻 第一号

一月号 ◎ 定価六〇円

昭和三十六年十二月二十五日印刷

昭和三十七年 一月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日 本 幼 稚 園 協 会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購読についてのご注文は発売所  
所「フレーベル館」にお願いいたします。